

ヒヤリングアート NEWS LETTER

Vol.14
2024.Summer

補聴器ユーザーインタビュー

聴こえるって楽しい!

今回、お話を伺ったのは谷さんご夫妻です。補聴器を使用されている妻の佐代さんは海外旅行先で美味しい料理を楽しむのが大好き。ニューヨークでクロックダンスを修得し、日本で初めてダンスチームを立ち上げました。夫の五郎さんはラジオ関西のパーソナリティで音楽アーティスト。趣味は温泉巡りです。素敵なお夫婦に補聴器の体験について伺いました。



上段左から：ヒヤリングアート 代表 園原 裕将、アビリーン店長 うめちゃん
下段左から：谷 佐代さん、谷 五郎さん

補聴器をつけようと思ったきっかけは？

佐代さん：ゆっくりと進行したので始めはあまり気づきませんでした。きっかけは家族の反応です。キッチンに立っているとき、リビングにいる子どもたちに何度も聴き返したり、全く聴こえないこともありました。夫に「補聴器をつけてみたらどう？」と勧められましたが、私はまだ自分の聴力に自信がありました。

一番の転機は友達との旅行ですね。家族と違い、友達との会話では少し遠慮をしまいます。何度も聴き返すことができず、つい聴こえているふりをする自分がいました。帰宅後、「補聴器ってどんなものかな」と思い、専門家に聞いてみようと思いました。

ヒヤリングアートに来るまで補聴器のイメージは？

佐代さん：高齢の方が使うものだと思っていました。歳をとって聴こえにくくなったらつける、ちょっとした補助程度のものというイメージでしたね。

五郎さん：メガネと同じイメージで、「視力が落ちたらメガネをかければいい」という気軽な感じで思っていたのですがそれが間違いだと分かりました。

不安や疑問に思っていたことは？

五郎さん：聴力が低下すると、情報へのアクセスが減りますよね。耳は情報の入り口であり、その情報を聞いて脳

で理解するわけですから。結果として思考が低下する可能性がありますよね。

佐代さん：それが認知症につながるのではと心配でした。

補聴器をつけてみて何が変わった？

佐代さん：補聴器を使うようになってから聞き返しがなくなり何より人との会話が楽になりました。

五郎さん：家での会話が本当に楽しくなりましたね。

補聴器の体験を通して気付いたことは？

佐代さん：もし園原さんと出会わなかったら、どこで補聴器のことを相談すればいいかわからなかったですし、自分で探してみてもこれでいいのかどうか分からずに戸惑っていたと思います。

五郎さん：確かに。何も知らずに補聴器を購入していたら、十分に聴こえていなくても、そういうものだと思っていたでしょうね。

園原：佐代さんは少し聴力が落ちておられ言葉の聞き取りのテストをしたところ間違いが多く、ご自身でも驚いておられましたね。お一人おひとり聴こえの状態は違うので、佐代さんの聴力に合わせて、補聴器を選び、そして段階的にじっくりと合わせていきました。

佐代さん、五郎さん：補聴器についての正しい情報が広まることは重要ですね。

園原：その通りです。私がラジオや講演会などで啓蒙活動を行っているのはそのためなんですよ。



佐代さんご装用の補聴器

音色はやさしいけれど、しっかりと言葉が分かるオーティコンのOwn1(カナルタイプ)



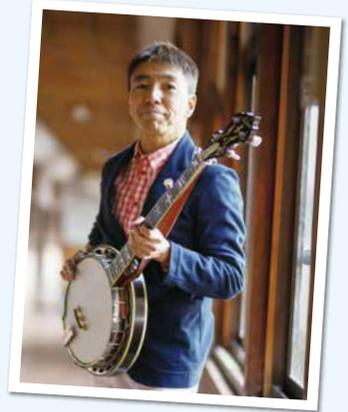
園原のワンポイント解説

佐代さんの聴力は低音域は正常で高音域が低下していました。このような聴力では音としては聴こえても言葉として理解しにくくなってしまいます。

アビリーン出演者ご紹介

ミュージシャン 吉崎ひろしさん

日本を代表するバンジョー奏者であり、シンガーソングライターでもあります。1986年に「高石ともや&ザ・ナターシャー・セブン」のバンジョー奏者としてプロの世界に飛び込みました。2018年にはアメリカ南部ツアーでテネシー州とジョージアを巡り、音楽フェスティバルやコンサート、日本領事館主催のイベントなどに出演し、その音楽性とパフォーマンスは現地でも高い評価を受けました。また、NHK「バラエティー生活笑百科」のテーマ曲の演奏など、輝かしい実績を持ち、多くのファンを魅了しています。



吉崎ひろしさん
N.B.Project (ボーカル、バンジョー)

園原のライブに
N.B.Projectの
メンバーが出演
してくれました。



現在は東京と大阪を拠点に、日本中を巡ってライブ活動を展開しており、主にN.B.Projectというバンドを中心に活動しています。彼の演奏はブルーグラスにとどまらず、ジャズやロックも取り入れた独自のサウンドでバンジョーのイメージを一新しました。その卓越した技術と個性的なスタイルは、一度聴いたら忘れられません。

また、彼は「晴れ男さん」の愛称で親しまれており、いつもニコニコ笑顔でライブを楽しませてくれます。ライブはアビリーンでも開催され、いつも大盛況です。ライブ後には観客やスタッフと共に楽しい打ち上げを行い、自らお気に入りの日本酒を差し入れて終電近くまで楽しい時間を過ごすこともあります。

＼ N.B. Project その他のメンバー ＼



松井 正樹さん (ピアノ) タフィ 水谷さん (フィドル)



ヒヤリングアートの
CMソングでも
吉崎さんがレコーディング
メンバーとして
参加しています。

吉崎さん出演のライブ@アビリーン

N.B.Project (ニューバンジョープロジェクトの略) : アメリカのブルーグラスのサウンドだけではなく、日本の三味線風や、吉崎さんならではのオリジナルのスタイルが楽しめます。
ひろしの部屋 : ラジオDJ風の進行で、毎回素敵なゲストを迎えて開催される人気のライブ!

詳しくはアビリーン HP をご覧ください。 <https://abilene.jp>

アビリーン



アビリーン スタッフ紹介



最新の
音響調整は
ワイヤレスで
やっています!



アビリーンスタッフ 竹嶋一生 (たけしま いっせい)

【出身】 大阪 豊中

【経歴・入社年】 アルバイトを経て2024年5月より正社員に

【趣味】 バンド演奏。ロックのボーカルがメインですが最近はアコースティックギターも練習中。

【皆さんへメッセージ】

こんにちは。音響のことなら私にお任せください。補聴器の技術・知識を吸収して言葉(歌詞)をどれだけ綺麗に聴いていただけるか、日々考えて調整しています。自分自身も音楽活動をしているので、お客様だけでなく、演者様にも気持ちよく演奏していただけるようなライブハウス作りを心がけています。何事も全力で取り組ませていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

茨木店店長 最所 佑二 オススメ!

Starkey Genesis ジェネシス 新登場!

人工知能(AI)が
あなたの聴覚機能を
サポート!



連続使用が
従来品に比べ
最長で42~51時間まで
大幅に拡大!

※価格:1台 31万~68万円

私が「ジェネシス」をオススメする3つのポイントは?



茨木店店長
認定補聴器技能者
最所 佑二

POINT
01

驚くほど自然!

静かでエコー感が少なく高音域がきれいなので
言葉がすっきり入ってきます!

POINT
02

音楽も最高!

マイクに入った音が耳に届くまでのスピードが速く
時差がほぼないため、プロミュージシャンにもオススメ。

POINT
03

豊富なラインアップ!

電池式の超小型耳穴式から充電式耳穴補聴器、
流行のRIC耳掛けタイプまで揃っています。

その他メーカーからのコメント!

人間の聴覚のダイナミックレンジ

もっとも静かな音から最も大きな音までの範囲は120dBですが118dBまで近づけることが実現。
歪みが少なく、ノイズも従来品に比べ40パーセント軽減。

聴き取りやすさと聞き心地の両立

内耳の機能を本来の働きと同じように補い今ある残存聴力を最大限に活用します。

言葉の聴き取りがもっと楽に

新しい音声処理方式を搭載し「サ行」に代表される日本語の聴き取りに重要な子音成分を補うために
3000Hz以上の音を従来より大きく増幅します。

見学
レポ

EXPO'70 パビリオン

来年はいよいよ「EXPO 2025 大阪・関西万博」が開催されます！それを前に、ぜひ日本初の大阪万博を体感できる「EXPO'70パビリオン」を楽しんでみませんか？1970年に「人類の進歩と調和」をテーマに掲げ、大盛況のうちに幕を閉じた大阪万博。その魅力がぎゅっと詰まったこのパビリオンでは、当時のワクワク感をもう一度味わえます。今回はそんな「EXPO'70パビリオン」を園原がレポートするとともに当時の思い出を振り返ります。

当時の熱気に触れる展示物

本館展示室では、大阪万博開催への歩み、1970年当時の時代背景が伺えます。その先にあるのは音楽堂スペースシアター。当時は音楽とレーザー光線によるショーが人気を集めました。天井・壁・床下に1008個ものスピーカーがあり、今もその迫力と臨場感が伝わります！



音楽堂 スペースシアター
床や天井に1008個ものスピーカーが完備！ホール全体がまるで巨大な楽器！

赤い照明の通路

開幕時のポスター、ポップ、看板などが並んでおり、当時にタイムスリップできる！



本館と別館を結ぶ光の洞窟
左:ヒヤリングアート 代表 園原
右: デザイナー松尾



パビリオンの展示品やエキスポランドの乗り物、建物のデザインなど、展示物はどれも斬新なアイデアが感じられるものばかり。国をあげてのビッグ・プロジェクトであったことが伝わってきます。



初代太陽の塔「黄金の顔」

別館の常設展示室で、太陽の塔の頭頂部に設置された「黄金の顔」とご対面。未来を表す万博のシンボルは直径10.6メートルと迫力満点！

当時を振り返って

私（園原）は当時6歳。前年1969年にアポロ11号が月に着陸成功を果たしました。それでアメリカ館では「月の石」が展示され、それを目当てに長蛇の列ができました。入口は、見たことのない回転式ドアで、入り方がわからないことや、そこで親と離れたことで大泣きした記憶があります。

売店では、これまでのような陶器やガラスではなく、プラスチック・紙コップなどの使い捨て容器に飲み物が入っているのは驚きでした。これがファーストフードの先駆けだったんですね。翌年、マクドナルドが日本に上陸しました。また、麺類が発砲スチロールの容器で提供され、「熱いお湯で容器が溶けないのかな？」なんて話していたのも覚えています。ちょうど日清のカップヌードル発売の1年前のことです。

最終日はあまりに多くの来場者で帰宅できず、モノレールの駅で一夜を過ごしました。後で祖母から「寝顔がテレビに映っていたよ」と聞かされたことも、今となっては楽しい思い出です。

万博EXPO'70パビリオン

大阪府吹田市千里万博公園
詳しくは HP をご覧ください。

万博EXPO'70



補聴器のヒヤリングアート

ヒヤリングアート豊中補聴器センター(本店):06-6848-4133

ヒヤリングアート池田補聴器専門店:072-751-3341

ヒヤリングアート高槻補聴器センター:072-683-4133

ヒヤリングアート茨木補聴器センター:072-634-4133

営業時間:10:00~18:00(ご予約優先) 休日:水・日・祝【全店 認定補聴器技能者 常駐】

ミュージックカフェ & バー アビレーン TEL: 090-8643-4133

豊中市岡町北1-1-5 ラークスパ 2F(阪急岡町駅前) <https://abilene.jp>

ヒヤリングアート株式会社
大阪府豊中市岡町北1-1-15 1階
<https://www.hearingart.co.jp>

Hearing Art
ヒヤリングアート

ABILENE
MUSIC CAFE & BAR

ヒヤリングアート
HPはこちら



アビレーン
HPはこちら

